

私の偏見で見た体操部

理学部学生 中野友紀子



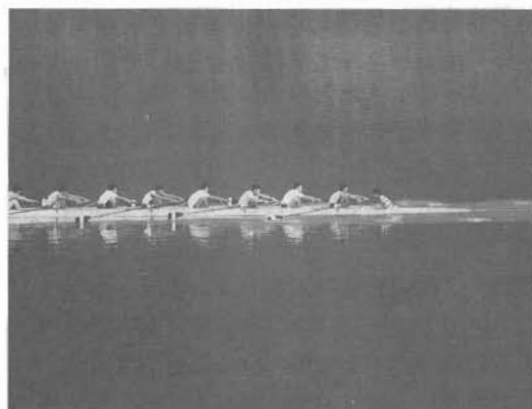
体操ってTVなんかで見ると、とってもキレイなスポーツですよ。ところがどっこい実体は、汗にまみれ血にまみれ、白い粉にまみれる、とってもキタナイスポーツです。…というのはいわゆる冗談ではありませんが、特に指導者のいない我が部は、お互いに助言し合いながら、いろんな技に挑戦して、日々練習に励んでいます。インカレに出場するような達人もいれば、私のように趣味でやってるような下手もいますが、親切に教えていただけます。

というわけで、でんぐり返しからW宙返りまで。とにかく回ることの好きな体操部は、脳ミソが遠心分離しがちなのか、それとも脳ミソまで筋肉に変わってしまったのか、その辺にはちょっといないような個性豊かな人がゴロゴロしている部なのです。

こんな体操部の悩みは、新体操の1年女子と器械体操の1年男子が1人しかいないこと。別に遅れて入ったって大丈夫です。現に最近2年の後期から入った方もおられます。体操は今しかできない!!今ならできる!!だから、やりたい人もやりたくない人も迷わず入るべきです。広大体操部はよいところですよ。と自信をもってお勧めできる部です。

ボート部とは?

経済学部学生 松本恒一



よく、「何かスポーツやってる?」と聞かれ、「ボート」と答えると「ああ、あの20人ぐらいでこぐやつ。オレもやったことある。」と言われます。が、それは「ボート」ではなく「カッター」なのです。また、「ヨットの練習どう?」と言われ、一瞬戸惑った後、「ああボートとヨットを間違えてんだ」と気づくのです。それほどボートはマイナーな競技なのです。

そこで広大体操部について少し紹介したいと思います。練習は太田川放水路河口で週5日(合宿中は朝と夕)2時間程度行っています。合宿は年6か月強あり、部員といる時間が長く、部員同士のつながりも、卒業後もずっと続くのです。また夕食は2人のマネージャーが作ってくれ、味も量も大変満足のいくものです。また、良し悪しは別にして上下関係がそれほど厳しくなく、雰囲気も大変良いので辞める者もほとんどいません。そして、1回約10日間の遠征が年に3~4回あり、他ではできないすばらしい経験を味わえるのです。

まだまだ足りませんが、これで少しでもボートに興味をわいた人は是非一度、軽い気持ちで遊びに来て下さい。